

西村大臣記者会見要旨

令和2年9月3日（木）18時22分～18時35分（13分）

（於：中央合同庁舎第8号館1階S101・103会見室）

（大臣冒頭発言）私からは3点申し上げます。

まず、一昨日、コロナ対策サポーターについて御紹介しましたけれども、就任いただきましたヴィッセル神戸の元スペイン代表のイニエスタ選手と、そしてチームメートの山口蛍選手、酒井高德選手とともにメッセージ動画をいただきました。これを御紹介したいと思います。

（動画開始）

（イニエスタ選手）日本の皆さん、新型コロナウイルスとの戦いは今なお続いています。皆さんの忍耐と感染予防が大事になってきます。

（山口選手）必要なことはリスクを避けることと感染予防です。移動時にはマスクをつけ、小まめに手を洗ってください。体調の悪いときはとにかく休んでください。3つの密を避ける。僕たちも守っています。

（酒井選手）あなたの行動が、あなたとあなたの大切な人を守ります。COCOAをダウンロードすることも大切です。新型コロナウイルスに負けるわけにはいきません。皆さんで力を合わせて協力して乗り越えましょう。

（3選手）一致団結。

（動画終了）

サポーターになっていただいていますイニエスタ選手、そしてお二人の選手に御協力いただいて感謝申し上げたいと思います。マスク着用、手洗い、3密回避、こういった基本的な感染拡大策の徹底という、お一人お一人の努力が何よりも大切だと思います。まさに国民の皆さんお一人お一人のお立場で、そしてまたみんなで一致団結して、連帯して乗り越えていければと思います。こうした動画を通じて呼びかけをしっかりと行っていきたいと思います。

この動画につきましては、内閣官房のコロナ特設サイトで本日公開予定でありますので、多くの方にご覧いただければと思

います。

それから、分科会につきましてであります。明日9月4日17時から第8回の新型コロナウイルス感染症対策分科会を開催いたします。

今回の分科会では、昨日、厚労省のアドバイザリーボードが開かれ、そこで議論されました最近の感染状況について、その御報告、さらにはあと1日、2日の感染状況も追加されますので、分析、評価を行っていただいで、これを踏まえて、いわゆる「G o T o E a t キャンペーン」事業のうち、各都道府県単位でそれぞれの域内の飲食店を対象とする事業、これについて御議論をいただければと思っております。

「G o T o E a t キャンペーン」事業については、担当の農林水産省に出席をしてもらい、説明をしてもらいますけれども、各都道府県内の域内の飲食店で使える食事券の販売をする事業であります。

既に農林水産省により1次公募が行われておりまして、その結果、8月25日に公表されておりますが、33の府県で事業体が採択されております。各地域、各県の商工会議所や商工会が中心となった事業と聞いております。

ちなみに、33府県で採択されておりますが、東京とそれから沖縄県は入っておりません。33府県で1次公募がなされて採択されているという、これはもう既に農林水産省から公表されておりますけれども、この事業の開始などについて御議論をいただく予定にしております。

それから、それとの関連で、「G o T o T r a v e l」事業の地域共通クーポン事業、「G o T o T r a v e l」のうち、地域のお土産物を買ったりするのに使える、あるいは地域の交通機関を利用したり、こういった事業、商店街で買ったりする事業。ある意味、「G o T o E a t」と重なる部分がありますので、あわせて観光庁から説明いただいた後に御議論いただく予定にしております。

それからもう一つ、ワクチン接種について、何度か議論を重ねてきておりますけれども、そうしたことを踏まえ、今月中に中間取りまとめを行う予定にしておりますけれども、それに向けて、様々な論点についてさらに御議論いただく予定にしております。

それから3点目であります。日経平均株価についてでありま

す。マーケットの動きについては一喜一憂すべきではありませんが、本日、日経平均株価が一時2万3,500円を超えまして、高値が2万3,581円ということであります。終値でも2万3,466円となりまして、この新型コロナウイルス感染症が拡大する、株価急落前の2月21日の終値2万3,387円を上回りました。

繰り返しになりますけれども、マーケットの動きについては一喜一憂すべきではありませんし、私自身がそれについてコメントすべきではないというのが基本的な考え方ではありますが、様々な分析があります。世界的な金融緩和、株高、その影響を受けての動きということでもありますし、世界経済、アメリカや中国で回復基調があるということもあります。

そして、株価は半年程度先行する指標でもあるともいわれております。今後、実体経済の経済回復の基調が明確になるように、堅調な成長軌道を描いていけるように、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。

ちなみに株価についてコメントするのは、私が記録する限りは、就任してから2回目じゃないかと思うんですけれども、1度目は年末の12月27日にコメントをしております。私が就任した9月の時点での、就任時の株価が2万1,598円でありました。年末の株価、終値は2万3,925円ということで、年率で37%上昇しましたというお話をして、さらに機械的に年率でそのままいけば、1年後は3万2,800円になるという数字を紹介しました。

残念ながら、コロナウイルス感染症でそうはなかなか難しいわけでありまして。大きく下落をしたわけでありましてけれども、改めて私自身はスタートラインに立ったような気分です。株価だけ見れば、コロナ前に戻りましたので、改めて一次補正、二次補正で手当てされた予算を着実に執行していくということ。

そして、よく7割経済とかという言い方をされる方がおられます。少なくとも株価は元に戻ってきましたので、今後、様々な事業でいわゆる人と人との距離をとらなきゃいけませんから、ソーシャルディスタンスの中で、入場制限を行ったりしながら、様々な苦勞をしながら、また工夫をしながら経済活動を引き上げ、そして、感染防止との両立を図っておられると思いますけれども、「新たな日常」をぜひ作っていくと。

これはデジタル化であり、テレワークもそうだと思います。ネットを使って様々な事業、配信もそうだと思います。そうい

ったことで、経済を成長軌道に乗せていくことだと思いたすので、7割経済ということではなくて、新たなものを生み出していくということも含めて、いわば7割デジタル、3割リアルぐらいの気持ちで、新たな経済社会の構造を作っていくということで、成長軌道に向けてしっかりと確立できるように頑張っていければと思っております。

私からは以上です。

（問）「G。T。トラベル」についてちょっとお伺いしたいんですけども、今、除外されている東京発着分の追加について、大臣は以前、9月上旬に判断ということをおっしゃられていたと思うのですが、検討状況や判断時期について、改めてお話しいただければということ。明日の分科会で提言されるのかを含めて、お願いいたします。

（大臣）東京都については、9月15日まで都外への外出は控えてもらうようにという趣旨の自粛が、知事から呼びかけが行われていますので、東京都とよく調整をしながら進めていかなきゃいけないと考えているところです。

（問）自民党の総裁選についてお伺いします。昨日、菅官房長官が立候補する意向を表明されました。岸田さんと石破さんと菅さんと3揃いました。大臣は今回の総裁選はどういった総裁選になるとお考えでしょうか。お考えをお願いいたします。

（大臣）3人の方、それぞれ経験、そして見識もお持ちの方々ばかりであります。私も3人の先輩方とともに仕事をしたこともあります。総裁選、私も経験しましたがけれども、今回、このコロナ感染症の制約のもとで、なかなかやりにくい、難しい総裁選にはなると思いたすけれども、それぞれの皆さんの先輩方の経験、あるは思い、そして何より政策、これをぜひ披露していただきながら政策論争を行っていただければと思いたしております。

私自身は菅官房長官のもとで2年間副長官をさせていただき、様々御指導もいただいてまいりましたし、今回、安倍総理が体調を崩されてということでの退任であります。この安倍政権、そしてアベノミクスを継承し、まだいわばデフレ脱却はできていないわけにありますので、デフレ脱却をし、またコロナでダメージを受けた経済をもう一度成長軌道に戻していくというこ

と、そういったことを含めて、アベノミクスを継承し、そして発展をさせていくこと、安倍政権のこの政策を発展させていくことが大事だということを申し上げてまいりました。

そういった観点から、私は菅長官を支持し、全力で応援をしていきたいと考えています。

ありがとうございました。